

第4章 中間評価の結果

1 指標の評価方法

計画策定時の値（基準値）と、直近値を比較し、以下のとおり a・b・c・d・e の5段階で各指標（項目）を評価しました。

- a 改善している：改善しており、中間目標に到達している
- b 改善傾向：改善傾向であるが、中間目標に到達していない
- c 変わらない：計画策定時の近況値（基準値）とほぼ変わらない（±0.1%）
- d 悪化傾向：計画策定時の近況値（基準値）に比べ悪化傾向である
- e 評価困難：設定した指標又は把握方法が策定時と異なるため評価困難

2 指標の現状値

(1) 健康指標

健康指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 健康寿命 男性 女性	(H22年) 78.13年 83.13年	増加 (※)	(H27年) 79.36年 84.39年	a a	増加 (※)	㉞
② 「健康寿命」の周知度 （「健康寿命」という言葉も内容も知っている人）	48.0%	60.0%	65.0%	a	75.0%	㉟
③ 普段から健康に心がけている人の割合	84.8%	95.0%	84.7%	c	95.0%	㉟

(※) 平均寿命の増加分を上回る健康寿命の延伸

- ㉞ 山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）山口県健康福祉部健康増進課（令和2年7月）※現状値は5年に1回の国勢調査年
- ㉟ 光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）
- ㉟ 光市「まちづくり市民アンケート調査」（平成26年度、令和元年度）

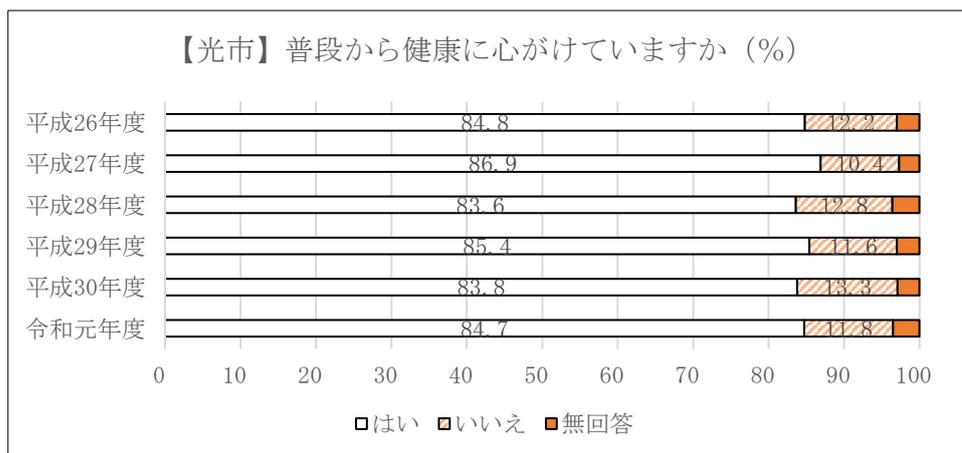
① 健康寿命【第2章 光市の現状 2(1)(4ページ)参照】

光市の健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）は近年延伸傾向にあり、平成22年度から平成27年度の5年間で、男性1.23年、女性1.26年延伸しています。

② 「健康寿命」の周知度

光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「健康寿命」という言葉も内容も知っている市民（20歳以上）の割合は、平成26年度48.0%から、令和2年度65.0%と増加している状況です。

③ 普段から健康に心がけている人



光市「まちづくり市民アンケート調査」の結果、普段から健康に心がけている市民（18歳以上）の割合は、平成26年度（84.8%）から令和元年度（84.7%）まで、大きな変化はみられない状況です。

(2) 個別指標

I ライフステージに応じた健康づくりの推進

1 次世代の健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 全出生児数中の低体重児 (2,500g未満)の割合	9.0%	減少	(R1年) 9.0%	c	減少	㊦
② 妊婦の喫煙者の割合	4.5%	減少	(R1年) 1.2%	a	0%	㊦
③ 喫煙に興味(関心)があ る生徒の割合 (中学生・高校生)	4.1%	減少	3.6%	a	減少	㊦
④ 「自分は健康(元気)だ」 と思う児童生徒の割合 (小学生) (中学生) (高校生)	79.6% 76.6% 75.6%	85.0%	81.5% 86.5% 79.5%	b a b	増加	㊦
⑤ 朝食を毎日とっている児 童生徒の割合(小学生) (中学生) (高校生)	84.7% 85.2% 70.9%	増加	79.5% 80.5% 71.8%	d d a	100%に 近づけ る	㊦
⑥ 運動を習慣的にしている 子どもの割合(学校の体育 の授業以外に、ほとんど毎日 (週に3日以上)運動・スポー ツをしている児童の割合) (小学5年生男子) (小学5年生女子)	(H25) 60.0% 34.7%	増加	—	e e ※	増加	㊦
⑦ 睡眠で休養が十分にとれ ていると思う生徒の割合 (中学生・高校生)	51.4%	55.0%	61.7%	a	60.0%	㊦

④光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）

⑤光市健康増進課

⑥文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（平成25年度）

※スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では近年（平成29・30・令和元年度）同設問の実施がない状況

① 低出生体重児

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
9.0%	11.1%	8.7%	6.1%	10.4%	9.0%

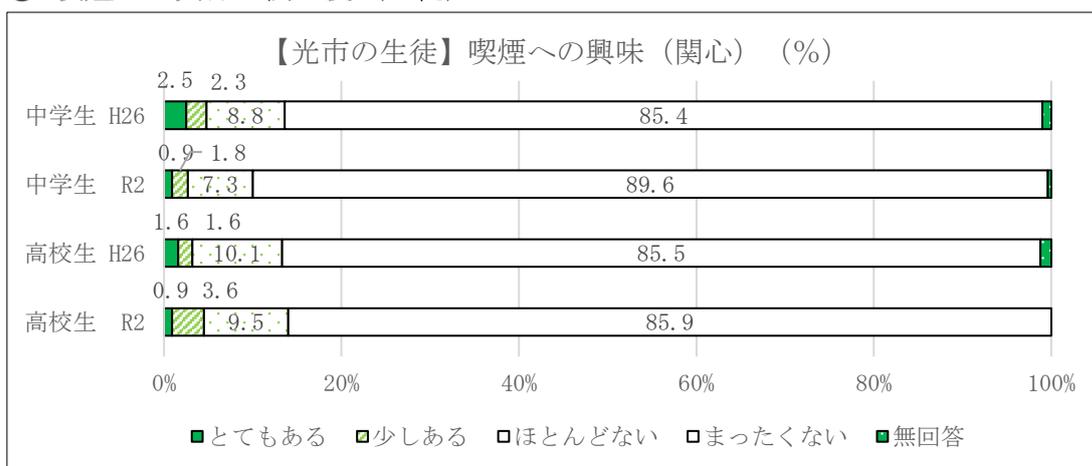
光市の全出生児数中の低体重児（2,500g未満）の割合は、近年増減はあるものの平成26年度と令和元年度は同じ状況です。

② 妊婦の喫煙者

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
4.5%	2.6%	2.7%	5.3%	1.6%	1.2%

光市の妊婦（妊娠届出者数）中の喫煙者の割合は、平成29年度が多かったものの平成26年度以降、減少傾向の状況です。

③ 喫煙への興味・関心度（生徒）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、たばこを吸うことに興味（関心）がある（とてもある・少しある）生徒（中高生）の割合は、平成26年度4.1%（中学生4.8%、高校生3.2%）から、令和2年度3.6%（中学生2.7%、高校生4.5%）と減少している状況です。

④ 主観的健康観（児童生徒）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、「自分は健康（元気）だと思いますか」という設問に「はい」と回答の児童生徒の割合は、小学生・中学生・高校生ともに平成26年度（小学生79.6%、中学生76.6%、高校生75.6%）から、令和2年度（小学生81.5%、中学生86.5%、高校生79.5%）と増加しています。

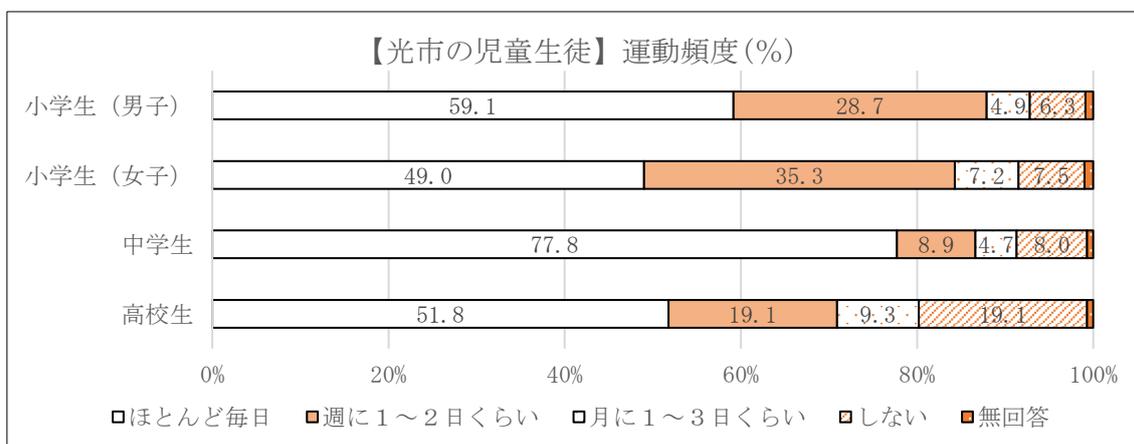
しかし、自分は健康（元気）だと思っていない児童生徒も数パーセントいる状況です。

⑤ 朝食の摂取状況（児童生徒）【第2章 光市の現状 5（1）（12ページ）参照】

光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、「朝食（朝ごはん）は、毎日、食べますか」という設問に「毎日食べる」と回答の児童生徒の割合は、小学生・中学生はともに平成26年度（小学生84.7%、中学生85.2%）から、令和2年度（小学生79.5%、中学生80.5%）と減少しており、高校生は平成26年度（70.9%）から、令和2年度（71.8%）と微増しているものの、朝食の欠食がある児童生徒が約2～3割いる状況です。

⑥ 運動習慣（児童生徒）

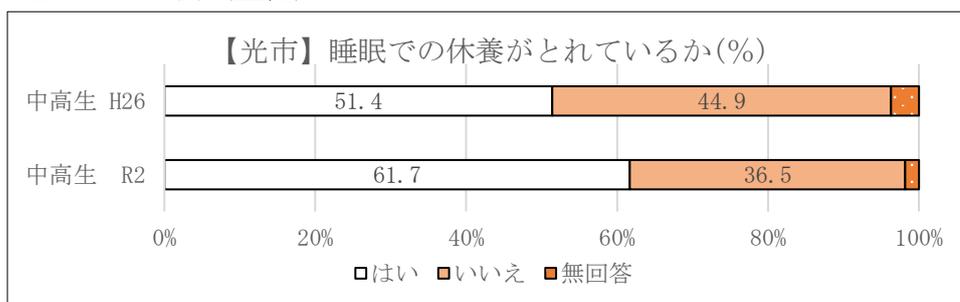
スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では近年（平成29・30・令和元年度）、平成25年度と同調査において、同じ設問の実施がない状況のため、比較しての評価は困難です。



【第2章 光市の現状 3（1）（8ページ）参照】

参考として、令和2年度光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果では、「運動やスポーツをどのくらいしていますか（学校の体育の授業をのぞきます）」という設問に「ほとんど毎日（週に3日以上）」と回答の児童の割合は、小学生男子59.1%、小学生女子49.0%という状況です。また、学年別では、小学3年生49.9%、小学6年生57.3%、中学生77.8%、高校生51.8%という状況です。

⑦ 睡眠での休養（生徒）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、最近、睡眠で休養が十分とれている生徒（中高生）の割合は、平成26年度51.4%（中学生52.2%、高校生50.7%）から、令和2年度61.7%（中学生61.6%、高校生61.8%）と増加している状況です。

2 働く世代の健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① がん検診受診率			(H29)			
・胃がん検診	7.8%	増加	6.9%	d	40%	㊦
・肺がん検診	19.0%		(H29) 17.8%	d		
・大腸がん検診	16.6%		(H29) 17.0%	a		
・子宮がん検診	23.1%		(H29) 23.0%	c	50%	
・乳がん検診	18.9%		(H29) 18.4%	d		
② 「自分は健康だ（非常に健康だ・健康な方だ）」と思う人の割合	69.3%	75.0%	68.9%	d	増加	㊧
③ 脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）	(H24) 男 38.0 女 29.0	減少	(H29) 男 35.2 女 21.5	a a	男 32.0 女 26.6	㊨
④ 虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）	(H24) 男 18.5 女 8.2	減少	(H29) 男 19.4 女 8.5	d d	男 16.0 女 7.3	㊩

㊦山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）
山口県「やまぐち健康マップ」（令和2年3月）

④光市「健康・食育に関するアンケート調査」(平成26年度、令和2年度)

⑤光市健康増進課

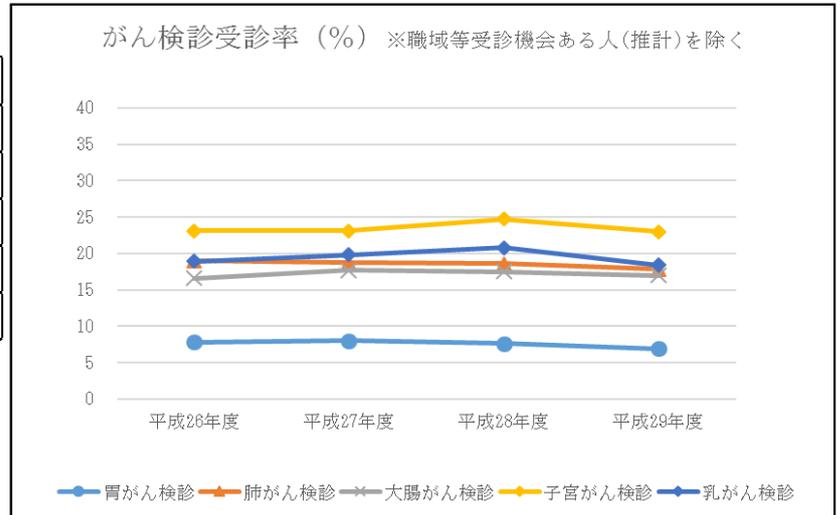
※計画策定時の基準値(平成26年度)は、職域等で受診機会がある人を推計し、全住民より引いた数を対象者としている。平成28年度より国報告において全住民を対象として受診率を算出することとなり、平成29年度までは比較するため同様の算出方法での受診率も公表しているため、直近値は平成29年度としている。

① がん検診受診状況

(%)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
胃がん検診	7.8	8.0	7.6	6.9
肺がん検診	19.0	18.7	18.6	17.8
大腸がん検診	16.6	17.7	17.5	17.0
子宮がん検診	23.1	23.1	24.7	23.0
乳がん検診	18.9	19.8	20.8	18.4

(対象者数:職域等で受診機会がある人を推計し、全住民より引いた数)

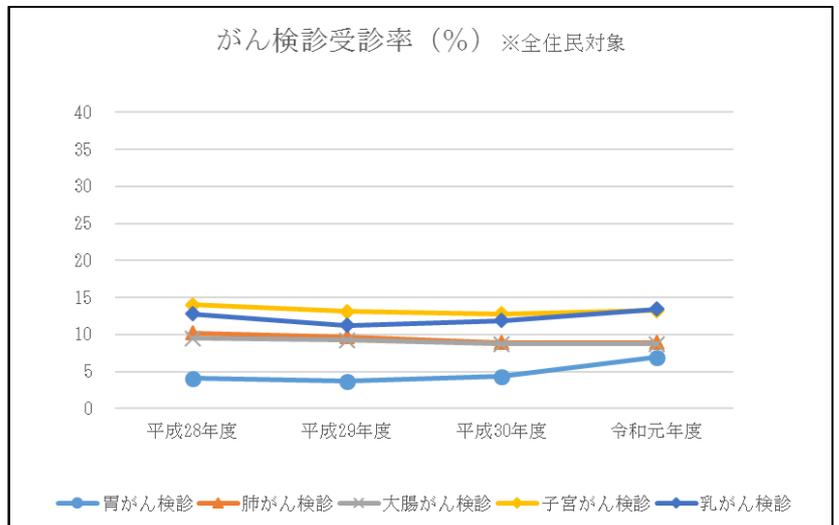


本市の平成26年度から平成29年度のがん検診受診率は、大腸がん検診はやや増加傾向ですが、胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・乳がん検診は減少傾向です。いずれも、受診率は低い状況です。

(%)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
胃がん検診	4.1	3.7	4.3	6.9
肺がん検診	10.2	9.7	8.9	8.9
大腸がん検診	9.5	9.2	8.7	8.7
子宮がん検診	14.0	13.1	12.8	13.2
乳がん検診	12.8	11.2	11.9	13.4

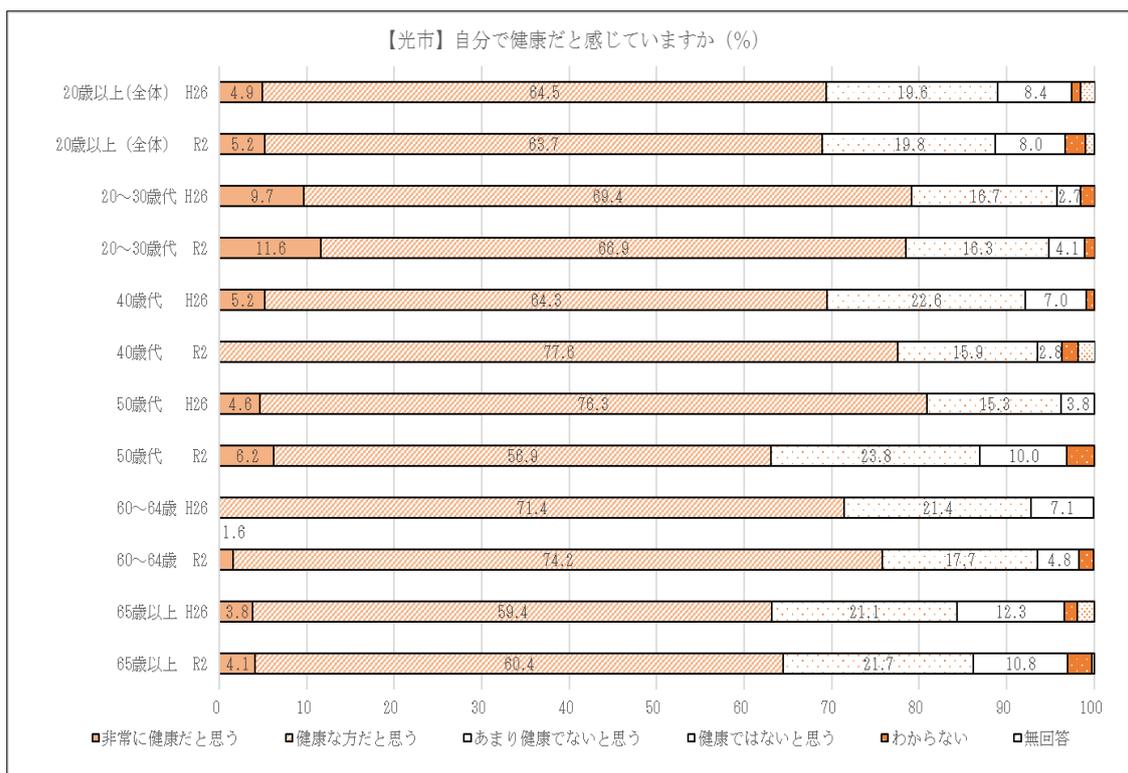
(対象者数:全住民)



参考として、平成28年度より国報告において全住民を対象として受診率を算出することとなり、平成28年度から令和元年度のがん検診受診率では、胃がん検診及び乳がん検診は増加傾向ですが、肺がん検診・大腸がん検診・子宮がん検診は減少傾向です。

なお、胃がん検診は平成30年度から対象者(40歳以上から50歳以上へ)・受診間隔(毎年から2年に1回へ)の変更、また、検査方法がエックス線検査と内視鏡検査(胃カメラ)の選択制となっています。

② 主観的健康観（成人）



光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「あなたは、自分で健康だと感じていますか」という設問に「非常に健康だと思う」「健康な方だと思う」と回答の市民（20歳以上）の割合は、平成26年度（69.3％）から、令和2年度（68.9％）と減少しています。なかでも、年代別で50歳代が「非常に健康だと思う」「健康な方だと思う」と回答する割合は平成26年度（80.9％）から、令和2年度（63.1％）と大幅に減少しており、「あまり健康でないと思う」「健康でないと思う」と回答する割合が平成26年度（19.1％）から令和2年度（33.8％）と大きく増加している状況です。

③ 脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
男	38.0	37.0	37.5	32.6	48.9	35.2
女	29.0	24.5	20.8	20.6	13.5	21.5

光市の脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）は、男女とも減少傾向です。

④ 虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
男	18.5	15.0	17.5	20.1	18.8	19.4
女	8.2	8.3	11.2	8.9	7.8	8.5

光市の虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）は、男女とも横ばいの状況です。

3 高齢期の健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 「自分は健康だ(非常に健康だ・健康な方だ)」と思う人の割合(65歳以上)	63.2%	70.0%	64.5%	b	増加	①
② 日頃、楽しめる趣味や生きがいがある人の割合(65歳以上)	82.6%	85.0%	82.3%	d	増加	①
④ 地域の自治会やコミュニティ活動への参加率「参加している(いつも+時々)」	60.8%	80.0%	51.3%	d	増加	⑦

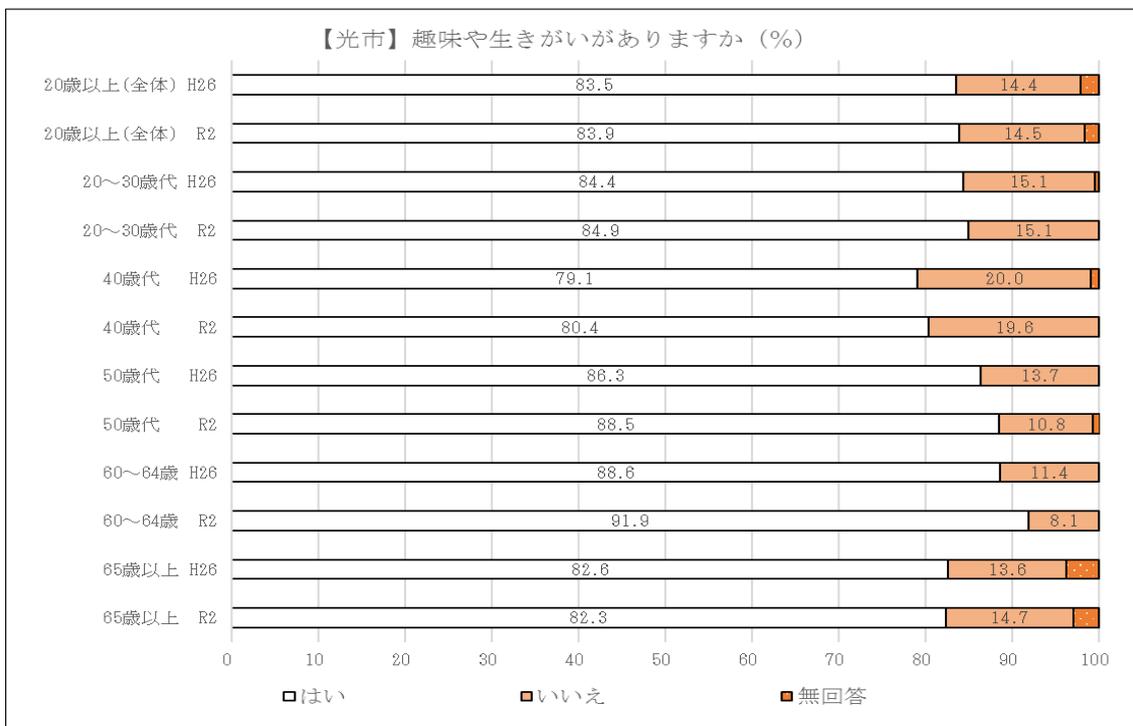
①光市「健康・食育に関するアンケート調査」(平成26年度、令和2年度)

⑦光市「まちづくり市民アンケート調査」(平成26年度、令和元年度)

① 主観的健康観(65歳以上) I-2-② (41ページ) グラフ参照

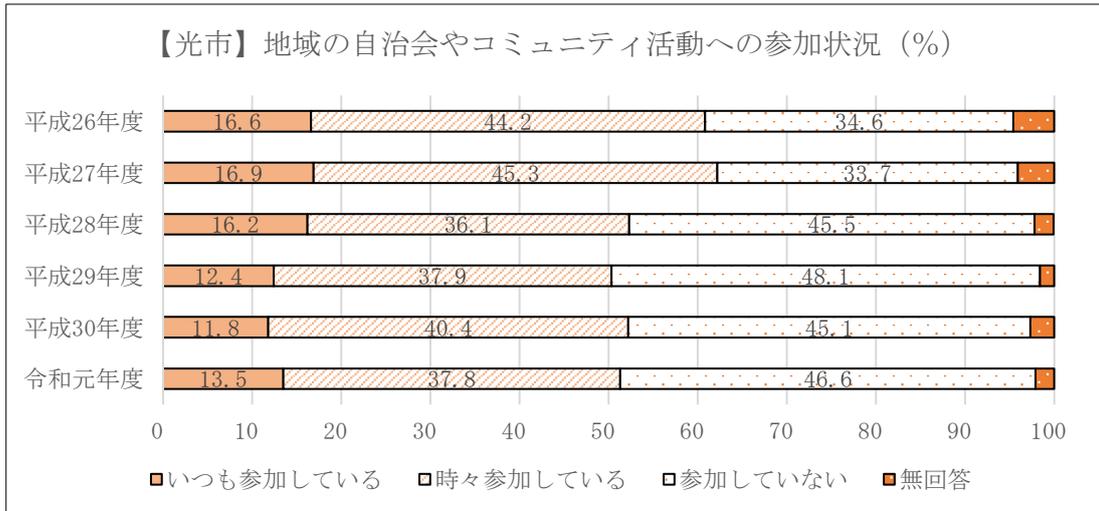
光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「あなたは、自分で健康だと感じていますか」という設問に「非常に健康だと思う」「健康な方だと思う」と回答の市民(65歳以上)の割合は、平成26年度(63.2%)から、令和2年度(64.5%)とやや増加している状況です。

② 趣味や生きがいの有無(65歳以上)



光市「健康・食育に関するアンケート調査(成人)」の結果、「日頃、楽しめる趣味や生きがいはありますか」という設問に「はい」と回答の市民(65歳以上)の割合は、平成26年度(82.6%)から、令和2年度(82.3%)とやや減少している状況です。

③ 地域の自治会やコミュニティ活動への参加



光市「まちづくり市民アンケート調査」の結果、地域の自治会やコミュニティ活動へ参加している（いつも参加している＋時々参加している）市民（18歳以上）の割合は、平成26年度（60.8%）から令和元年度（51.3%）と、減少している状況です。

II 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上

1 身体活動と運動の促進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合	36.4%	40.0%	41.0%	a	45.0%	㊦
② 健康づくりのために意識的に運動をしている人の割合（いつもしている、時々している）	65.8%	70.0%	72.1%	a	75.0%	㊦
③ 運動を習慣的にしている子どもの割合（学校の体育の授業以外に、ほとんど毎日（週に3日以上）運動・スポーツをしている児童の割合）		増加	—		増加	㊧
【再掲（I-1）】 （小学5年生男子） （小学5年生女子）	(H25) 60.0% 34.7%			e e ※		

㊦ 山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）
山口県「健康づくりに関する県民意識調査」（平成30年3月）

㊧ 文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（平成25年度）

※スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では近年（平成29・30・令和元年度）同設問の実施がない状況

① 定期的な運動習慣

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（36.4%）から平成29年度（41.0%）と、増加している状況です。

② 意識的な運動の実践

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、「日常生活において、健康維持・増進のために、意識的に体を動かすように心がけている（いつも＋ときどき）」市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（65.8%）から平成29年度（72.1%）と、増加している状況です。

③ 運動習慣（児童生徒）【再掲（I-1）】I-1-⑥（38ページ）参照
【第2章 光市の現状 3（1）（8ページ）参照】

2 こころの健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 自殺死亡率(人口10万人あたり)	16.82	減少	13.5	a	減少	㊦
② 睡眠で休養が十分にとれていると思う人の割合 【再掲（I-1）】 (中学生・高校生) (20～50歳代)	51.4% 51.4%	55.0%	61.7% <u>48.9%</u>	a d	60.0%	①
③ ストレスを毎日感じている人の割合 (中学生・高校生) (20～50歳代)	18.5% 22.9%	減少	<u>17.3%</u> 27.6%	a d	減少	①
④ 自分なりのストレス解消法をもっている人の割合	74.5%	80.0%	69.9%	d	90.0%	㊦
⑤ 自分のことが好き（好き・どちらかといえば好き）という生徒の割合 (中学生) (高校生)	40.7% 30.1%	増加	45.9% <u>36.9%</u>	a a	増加	①

㊦山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年度）

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」（平成30年3月）

①光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）

㊦内閣府「地域における自殺の基礎資料」（平成26年、平成30年）

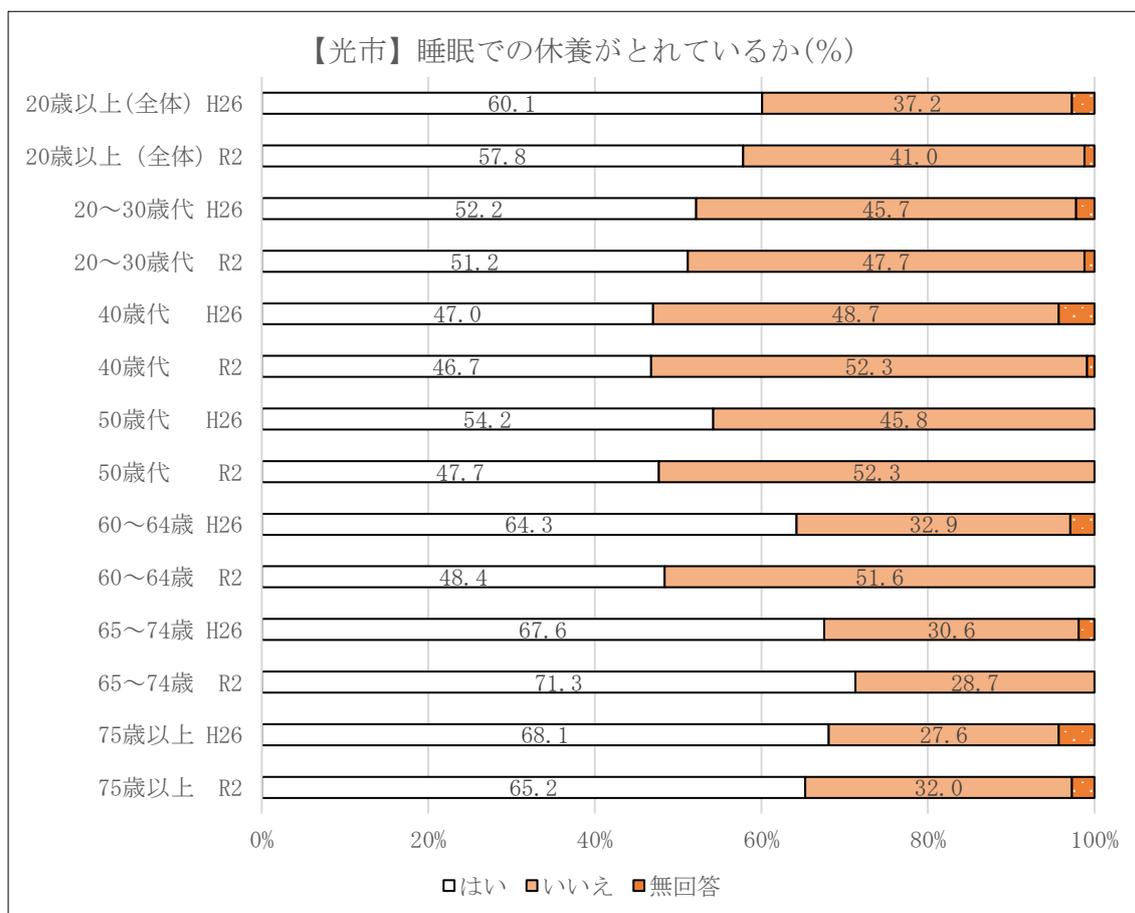
① 自殺死亡率（人口 10 万人あたり）

平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
16.82	13.2	15.2	13.4	13.5

光市の自殺死亡率（人口 10 万人あたり）は、平成 26 年以降、減少傾向の状況です。

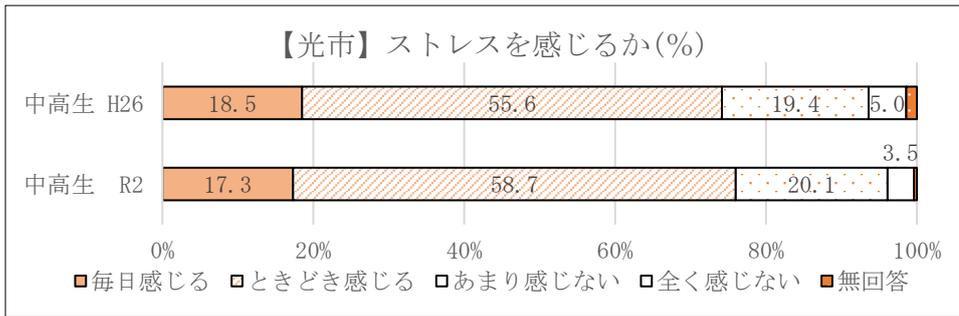
② 睡眠での休養（生徒：I-1-⑦（39 ページ）参照）（成人）

【再掲】光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、最近、睡眠で休養が十分とれている生徒（中高生）の割合は、平成 26 年度 51.4%（中学生 52.2%、高校生 50.7%）から、令和 2 年度 61.7%（中学生 61.6%、高校生 61.8%）と増加している状況です。

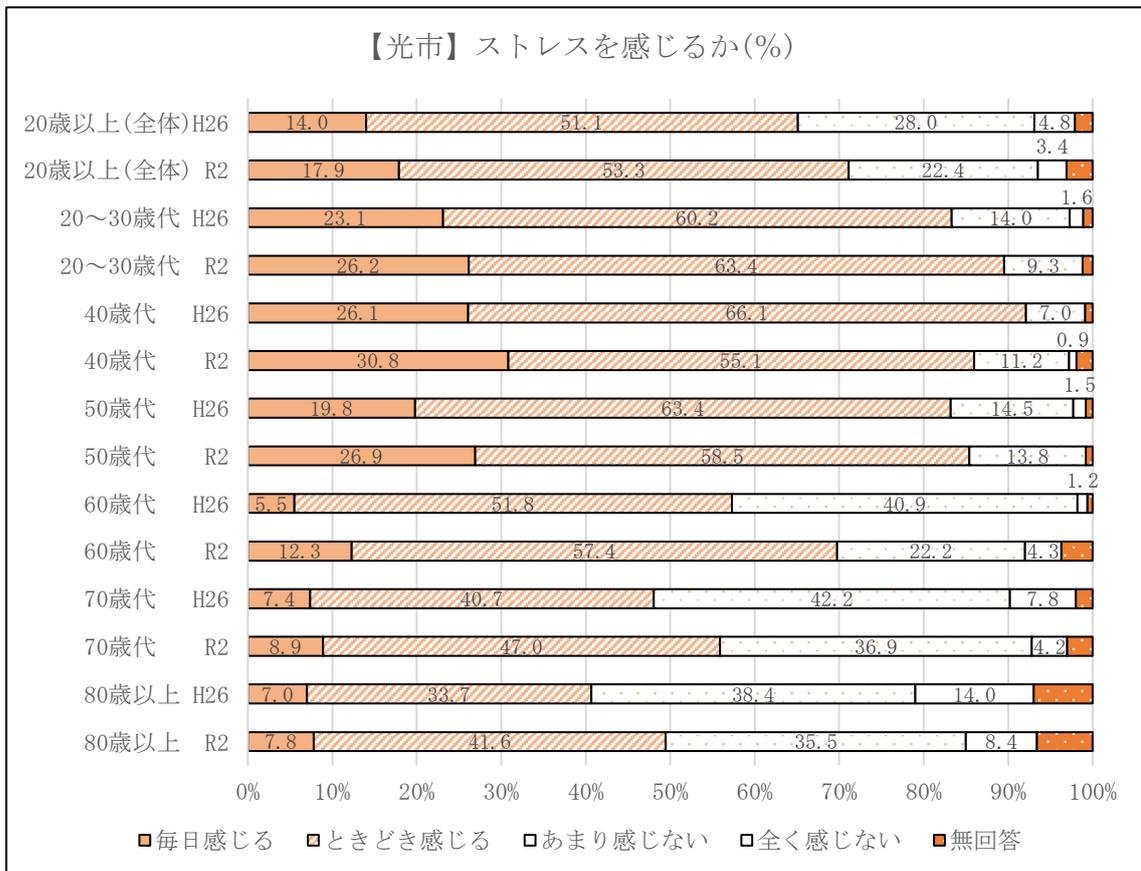


光市「健康・食育に関するアンケート調査（成人）」の結果、いつもの睡眠で休養が十分とれている市民（20 歳以上）の割合は、平成 26 年度（60.1%）から、令和 2 年度（57.8%）と減少している状況です。年代別で、20～50 歳代の割合は、平成 26 年度（51.4%）から、令和 2 年度（48.9%）と減少しており、増加しているのは 65～74 歳の年代のみです。

③ ストレスを毎日感じている人（生徒、成人）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、ストレスを毎日感じている生徒（中高生）の割合は、平成 26 年度 18.5%（中学生 19.0%、高校生 18.0%）から、令和 2 年度 17.3%（中学生 17.5%、高校生 17.0%）と減少している状況です。

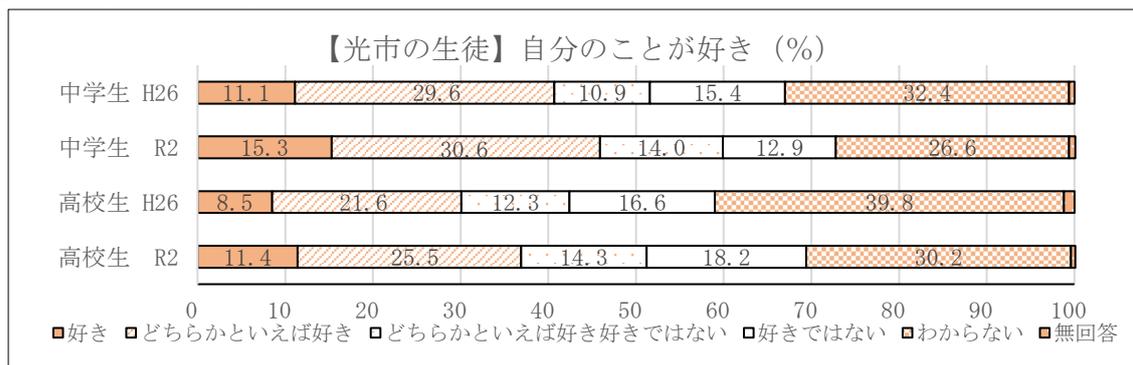


光市「健康・食育に関するアンケート調査（成人）」の結果、ストレスを毎日感じている市民（20歳以上）の割合は、平成 26 年度（14.0%）から、令和 2 年度（17.9%）は増加しています。年代別で、20～50 歳代の割合は、平成 26 年度（22.9%）から、令和 2 年度（27.6%）と増加しており、どの年代でも成人では増加している状況です。

④ ストレス解消法の有無

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、「自分なりのストレス解消法を持っている」市民（20～70歳代）の割合は、平成 26 年度（74.5%）から平成 29 年度（69.9%）と、減少している状況です。

⑤ 自己肯定感（生徒）



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、自分のことが好き（好き・どちらかといえば好き）という生徒の割合は、中学生・高校生ともに平成26年度（中学生40.7%、高校生30.1%）から、令和2年度（中学生45.9%、高校生36.9%）と増加しています。

しかし、「わからない」と回答している生徒の割合が減少（平成26年度中学生32.4%、高校生39.8%から、令和2年度中学生26.6%、高校生30.2%）しており、自分のことが好きではない（どちらかといえば好きではない・好きではない）生徒の割合が中学生・高校生ともに、平成26年度（中学生26.3%、高校生28.9%）から、令和2年度（中学生26.9%、高校生32.5%）と増加している状況です。

3 歯と口腔の健康づくりの推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 3歳児健康診査でう歯のない子どもの割合	86.0%	90.0%	80.8%	d	増加	㊷
② よくかんで味わって食べる児童生徒の割合 (小学生・中学生・高校生)	61.0%	70.0%	76.3%	a	増加	㊸
③ 毎食後歯をみがく人の割合 (小学生) (中学生) (高校生) (成人)	61.9% 69.1% 22.2% 27.5%	10% 以上の 増加	58.0% 65.0% 35.7% 30.9%	d d a b	増加	㊸
④ 歯科のかかりつけ医がある人の割合	23.9%	40.0%	<u>27.2%</u>	b	60.0%	㊸
⑤ 過去1年間に歯科健康診査を受けた人の割合	42.4%	55.0%	53.6%	b	65.0%	㊹

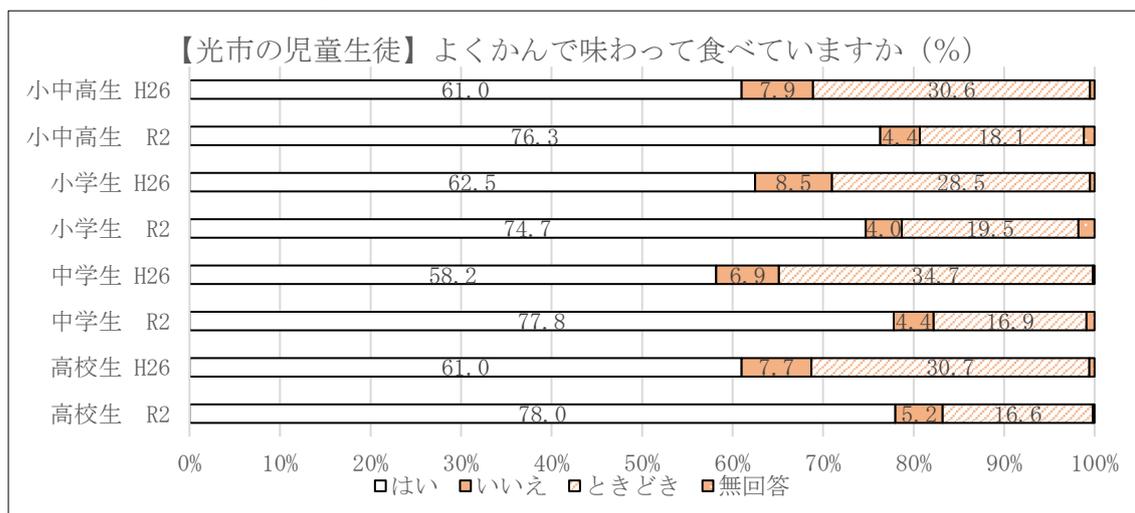
- ㊷ 山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）
山口県「健康づくりに関する県民意識調査」（平成30年3月）
- ㊸ 光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）
- ㊹ 光市健康増進課

① う歯のない子ども

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
86.0%	84.1%	80.4%	77.9%	78.5%	80.8%

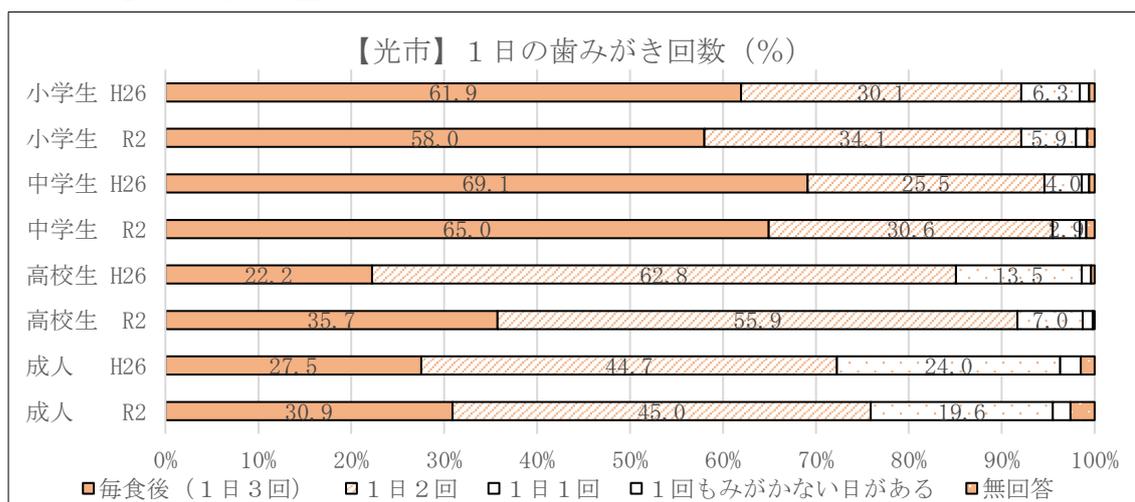
光市の3歳児健康診査においてう歯のない子どもの割合は、平成29年度まで減少傾向でしたが、近年やや増加傾向です。

② よくかんで味わって食べる児童生徒



光市「健康・食育に関するアンケート調査（児童生徒）」の結果、「よくかんで味わって食べていますか」という設問に「はい」と回答の児童生徒の割合は、平成26年度61.0%（小学生62.5%、中学生58.2%、高校生61.0%）から、令和2年度76.3%（小学生74.7%、中学生77.8%、高校生78.0%）と増加している状況です。

③ 歯みがきの頻度（児童生徒、成人）



光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、毎食後歯をみがく市民（児童生徒及び成人）の割合は、小学生・中学生はともに平成26年度（小学生61.9%、中学生69.1%）から、令和2年度（小学生58.0%、中学生65.0%）と減少しており、高校生・成人はともに平成26年度（高校生22.2%、成人27.5%）から、令和2年度（高校生35.7%、成人30.9%）と増加している状況です。

④ 歯科のかかりつけ医の有無

光市「健康・食育に関するアンケート調査（成人）」の結果、「現在、かかりつけ医療機関がありますか」の設問に「はい」と回答した人のうち、かかりつけ医が「歯科医師」の割合は、平成26年度（23.9%）から令和2年度（27.2%）と、増加している状況です。

⑤ 過去1年間の歯科健康診査受診状況

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、過去1年間に歯科健康診査を受けた市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（42.4%）から平成29年度（53.6%）と、増加している状況です。

Ⅲ 望ましい食習慣の実践と食育の推進

1 望ましい栄養摂取と食生活の実践

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 朝食を毎日とっている児童生徒の割合 【再掲（I-1）】 (小学生) (中学生) (高校生)	84.7% 85.2% 70.9%	増加	79.5% 80.5% 71.8%	d d a	100%に 近づける	㊶
② ほぼ毎日（週6日以上） 朝食を摂取している人の 割合	79.9%	85% 以上	81.9%	b	90% 以上	㊷
③ 1日3回野菜を食べる人の 割合 (小学生) (中学生) (高校生) (成人)	39.2% 39.5% 23.6% 26.8%	10% 以上の 増加	31.3% <u>40.1%</u> 25.5% 21.4%	d b b d	増加	㊶
④ 主食、主菜、副菜のそろ った食事を1日2回以上 とる人の割合	48.9%	60% 以上	53.8%	b	70% 以上	㊷
⑤ 家で料理をする機会があ る人の割合（毎日ある・ 週に数回ある） *児童 生徒は大人と一緒にするこ とも含む (小学生・中学生 ・高校生) (成人男性)	23.8% 17.5%	10% 以上の 増加	<u>22.2%</u> 24.7%	d b	増加	㊶
⑥ 「食育」に関心がある人の 割合	80.6%	90% 以上	74.9%	d	90% 以上	㊷

㊷山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」（平成30年3月）

㊶光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）

㊷光市「まちづくり市民アンケート調査」（平成26年度、令和元年度）

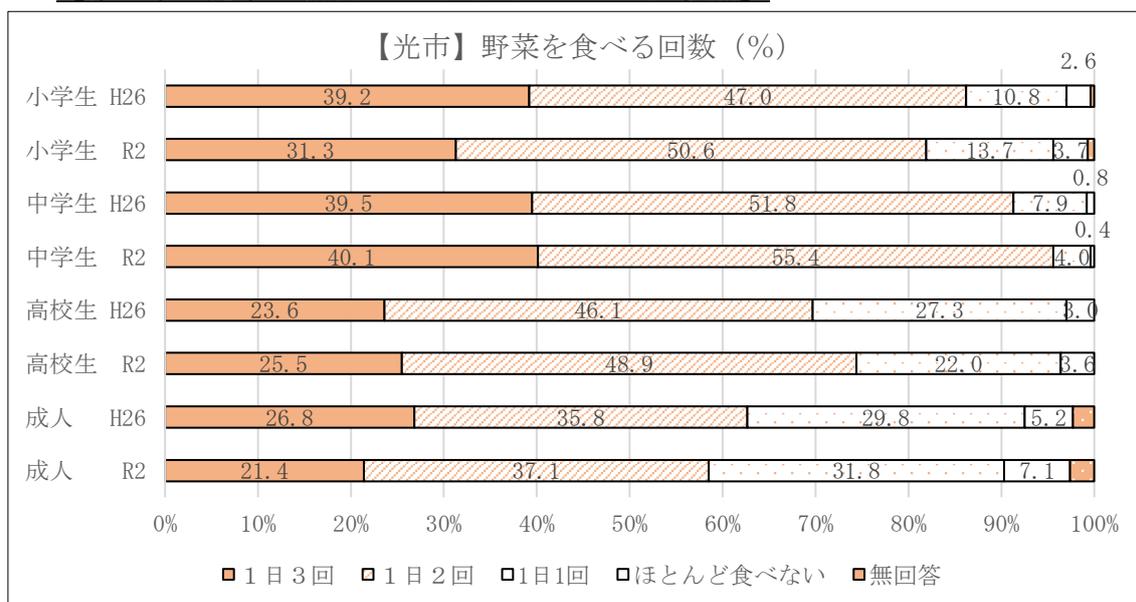
① 朝食の摂取状況（児童生徒）【再掲（I - 1）】 I - 1 - ⑤（38 ページ）参照
【第2章 光市の現状 5（1）（12 ページ）参照】

② 朝食の摂取状況（成人）

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、朝食をほぼ毎日（週6日以上）摂取している市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（79.9%）から平成29年度（81.9%）と、やや増加している状況です。

③ 野菜の摂取状況（児童生徒、成人）

【第2章 光市の現状 5（2）（13 ページ）参照】

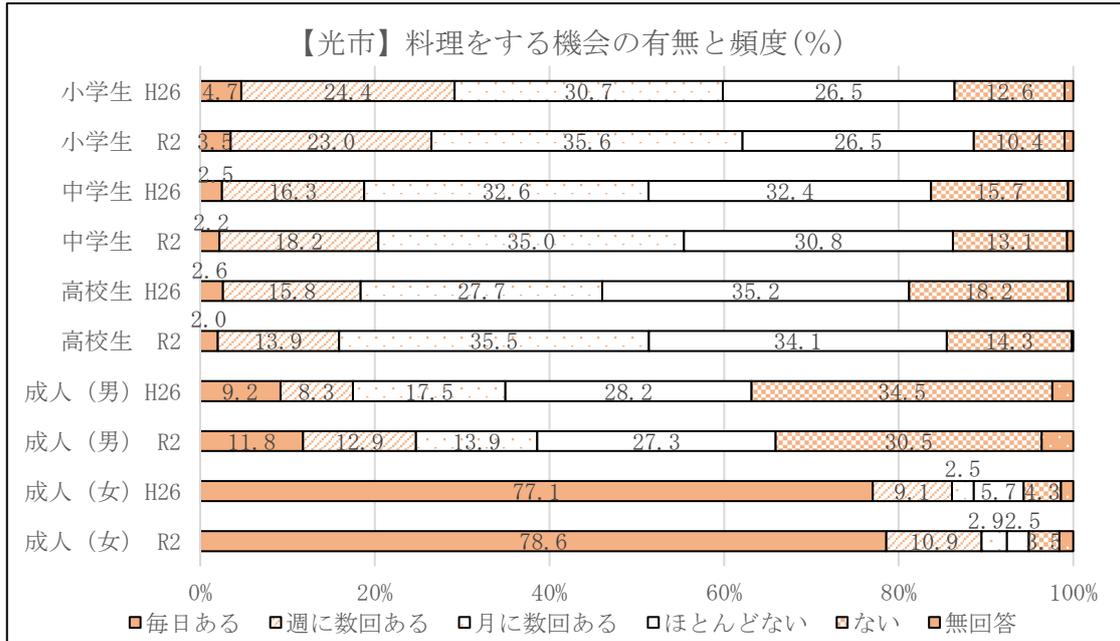


光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、1日3回野菜を食べる市民（児童生徒及び成人）の割合は、小学生・成人はともに平成26年度（小学生39.2%、成人26.8%）から、令和2年度（小学生31.3%、成人21.4%）と減少しており、中学生・高校生はともに平成26年度（中学生39.5%、高校生23.6%）から、令和2年度（中学生40.1%、高校生25.5%）と増加している状況です。

④ 主食、主菜、副菜のそろった食事の摂取状況（成人）

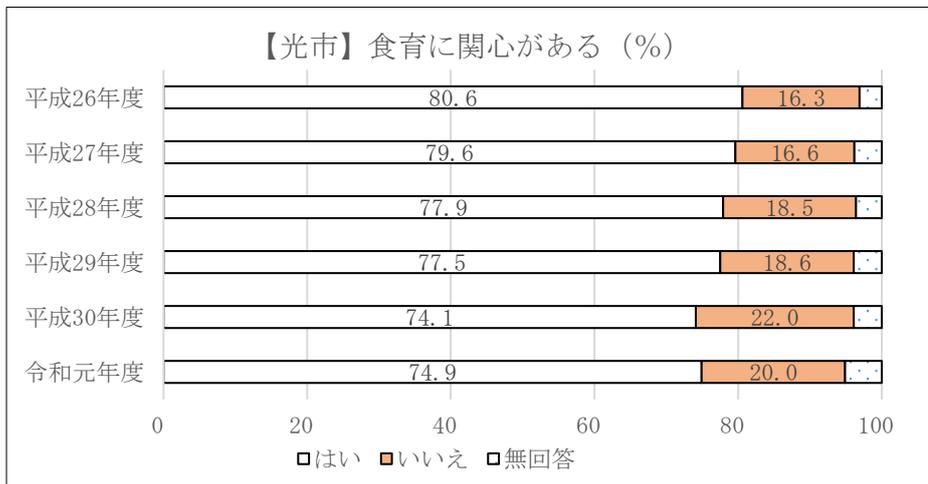
山口県「健康づくりに関する県民意識調査」の結果、主食、主菜、副菜のそろった食事を1日2回以上とることが週に6日以上の市民（20～70歳代）の割合は、平成26年度（48.9%）から平成29年度（53.8%）と増加している状況です。

⑤ 家庭での料理体験状況（児童生徒、成人）



光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、家で料理をする機会がある（毎日ある・週に数回ある）（児童生徒は大人と一緒にすることも含む）児童生徒の割合は、平成26年度23.8%（小学生29.1%、中学生18.8%、高校生18.4%）から、令和2年度22.2%（小学生26.5%、中学生20.4%、高校生15.9%）と減少しており、20歳以上成人男性の割合は、平成26年度17.5%から、令和2年度24.7%と増加している状況です。

⑥ 「食育」への関心



光市「まちづくり市民アンケート調査」の結果、「食育」に関心がある市民（18歳以上）の割合は、平成26年度（80.6%）から令和元年度（74.9%）と減少している状況です。

2 食文化の継承と食に関する感謝の念と理解、共食の推進

個別指標	基準値 (平成26年)	中間目標 (令和2年)	直近値 (令和2年)	評価	参考値 (令和7年)	基準値 現状値 出典
① 誰かと食事をする人の割合（家で一人で食事することがない児童生徒）（家族や友人など、誰かと一緒に食事をする機会が1日1回以上ある成人）						①
（小学生）	73.2%	75%以上	72.1%	d	80%以上	
（中学生）	42.8%	50%以上	<u>46.6%</u>	b	60%以上	
（高校生）	37.6%	50%以上	41.8%	b	60%以上	
（成人）	64.4%	70%以上	<u>64.1%</u>	<u>d</u>	80%以上	
② 「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをいつもする人の割合		10% 以上の 増加				①
（小学生）	78.4%		76.0%	d	増加	
（中学生）	68.1%		78.7%	a		
（高校生）	56.2%		70.0%	a		
（成人）	50.5%		49.0%	d		
③ 食事のマナーや作法について気をつけている人の割合		10% 以上の 増加				①
（中学生）	38.2%		56.5%	a	増加	
（高校生）	20.8%		43.9%	a		
（成人）	19.7%		19.4%	d		
④ 地元の食材を購入している人の割合	81.3%	90% 以上	78.6%	d	95.0%	㊦
⑤ 食べ残しやごみを減らすことに気をつけている人の割合		10% 以上の 増加				①
（中学生・高校生）	33.8%		<u>58.7%</u>	a	増加	
（成人）	35.0%		<u>37.8%</u>	b		
⑥ 行事食を取り入れることを意識している人の割合	18.0%	10% 以上の 増加	16.2%	d	増加	①

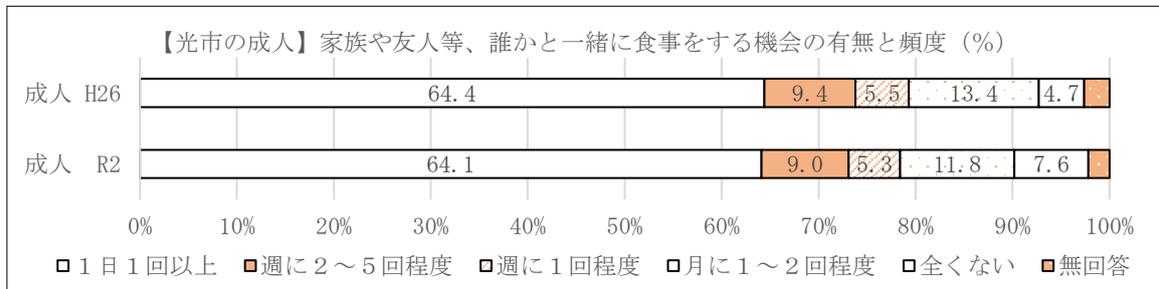
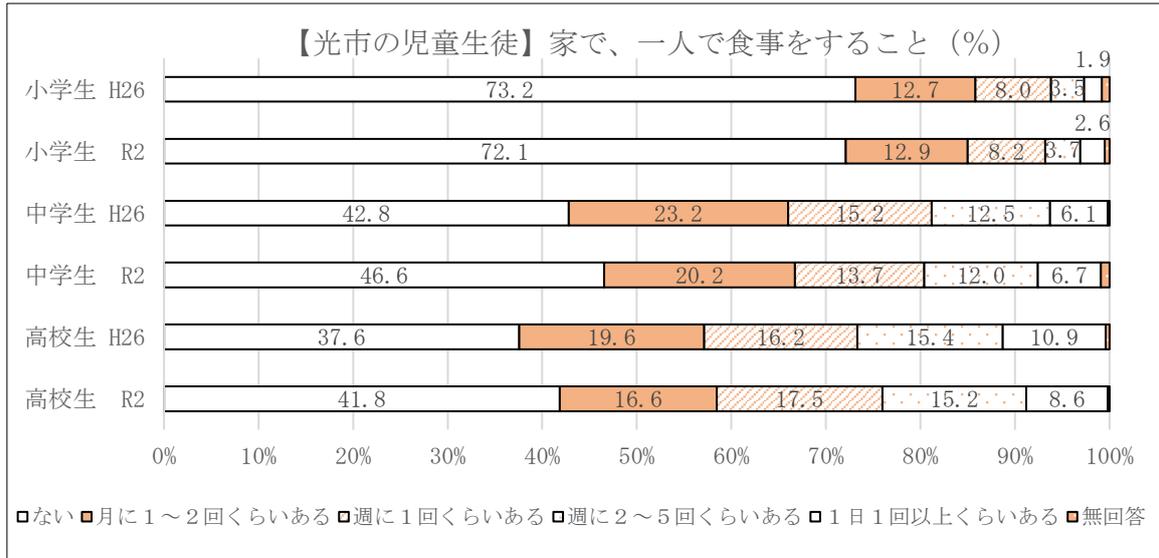
㊦山口県「やまぐち健康マップ」「健康づくりに関する県民意識調査」（平成26年10月）

山口県「健康づくりに関する県民意識調査」（平成30年3月）

①光市「健康・食育に関するアンケート調査」（平成26年度、令和2年度）

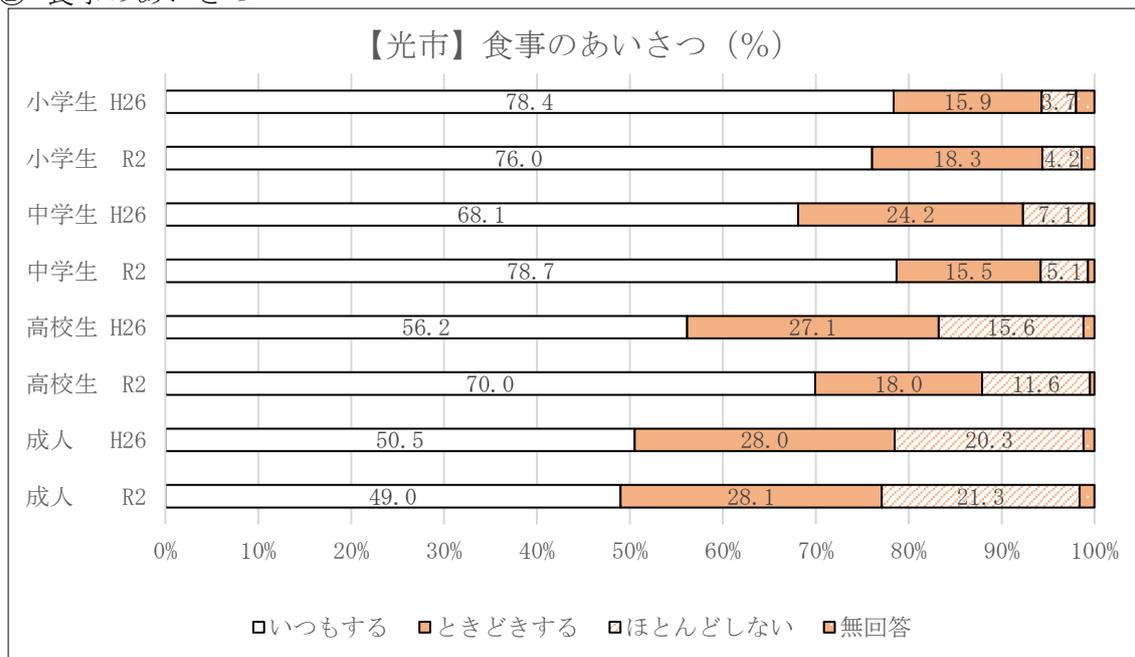
㊦光市「まちづくり市民アンケート調査」（平成26年度、令和元年度）

① 孤食の状況



光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「家で、一人で食事をする事がありますか」という設問に「ない」と回答の児童生徒の割合は、小学生は平成26年度73.2%から、令和2年度72.1%と減少しており、中学生・高校生はともに平成26年度（中学生42.8%、高校生37.6%）から、令和2年度（中学生46.6%、高校生41.8%）と増加している状況です。また、「家族や友人等、誰かと一緒に食事をする機会がありますか」という設問に「1日1回以上」と回答の成人の割合は、平成26年度64.4%から、令和2年度64.1%と減少しており、「全くない」と回答の成人の割合が平成26年度4.7%から、令和2年度7.6%と増加している状況です。

② 食事のあいさつ

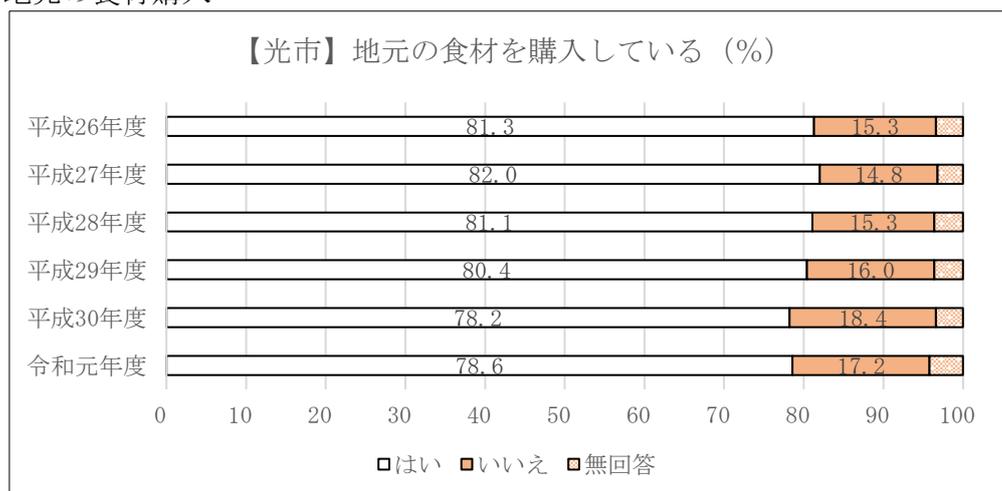


光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか」という設問に「いつもしている」と回答の児童生徒の割合は、小学生と成人は平成26年度（小学生78.4%、成人50.5%）から、令和2年度（小学生76.0%、成人49.0%）と減少しており、中学生・高校生はともに平成26年度（中学生68.1%、高校生56.2%）から、令和2年度（中学生78.7%、高校生70.0%）と増加している状況です。

③ 食事のマナーや作法

光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「食生活で気をつけていることがありますか」という設問に「食事のマナーや作法（食事のあいさつ、はしの持ち方等）」について気をつけていると回答の生徒及び成人の割合は、中学生・高校生はともに平成26年度（中学生38.2%、高校生20.8%）から、令和2年度（中学生56.5%、高校生43.9%）と増加しており、成人は平成26年度19.7%から、令和2年度19.4%と減少している状況です。

④ 地元の食材購入



光市「まちづくり市民アンケート調査」の結果、地元の食材を購入している市民（18歳以上）の割合は、平成26年度（81.3%）から令和元年度（78.6%）と減少している状況です。

⑤ 食物残渣や環境への配慮

光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「食生活で気をつけていることがありますか」という設問に「食べ残しやごみを減らす」ことに気をつけていると回答の生徒及び成人の割合は、中学生・高校生及び成人ともに平成26年度（中学生・高校生 33.8%、成人 35.0%）から、令和2年度（中学生・高校生 58.7%、成人 37.8%）と増加している状況です。

⑥ 食文化の継承

光市「健康・食育に関するアンケート調査」の結果、「食生活で気をつけていることがありますか」という設問に「伝統的な行事食を取り入れる（おせち料理、七草粥、おはぎ、ちまき 等）」ことについて気をつけている（心掛けている）と回答の成人の割合は、平成26年度 18.0%から、令和2年度 16.2%と減少している状況です。

3 指標（項目）の達成状況

分野ごとに指標（項目）を設定し、数値目標を掲げて、計画の進捗状況の把握、課題分析等に取り組みました。全ての指標（項目）の達成状況は、以下のとおりです。

●達成状況一覧（全 39 指標 70 項目）

			指標数	項目数	評価結果の項目数				
					a	b	c	d	e
健康指標			3	4	3	0	1	0	0
個別指標	I ライフステージに応じた健康づくりの推進	1 次世代の健康づくりの推進	7	12	5	2	1	2	2
		2 働く世代の健康づくりの推進	4	10	3	0	1	6	0
		3 高齢期の健康づくりの推進	3	3	0	1	0	2	0
	II 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上	1 身体活動と運動の促進	2	2	2	0	0	0	0
		再掲含	3	4	2	0	0	0	2
		2 こころの健康づくりの推進	4	7	4	0	0	3	0
	再掲含	5	8	5	0	0	3	0	
	3 歯と口腔の健康づくりの推進	5	8	2	3	0	3	0	
	III 望ましい食習慣の実践と食育の推進	1 望ましい栄養摂取と食生活の実践	5	9	0	5	0	4	0
		再掲含	6	12	1	5	0	6	0
	2 食文化の継承と食に関する感謝の念と理解、共食の推進	6	15	5	3	0	7	0	
合計			39	70	24	14	3	27	2
			再掲含 42	76	26	14	3	29	4

●評価結果及び項目

評価結果 (割合)	項目
<p>a 改善している 24項目 (34.3%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命【男性】 ・健康寿命【女性】 ・「健康寿命」の周知度（「健康寿命」という言葉も内容も知っている人） ・妊婦の喫煙者の割合 ・喫煙に興味（関心）がある生徒の割合（中学生・高校生） ・「自分は健康（元気）だ」と思う児童生徒の割合（中学生） ・朝食を毎日とっている児童生徒の割合（高校生） ・睡眠で休養が十分にとれていると思う生徒の割合（中学生・高校生） ・がん検診受診率（大腸がん検診） ・脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）【男】 ・同上【女】 ・1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合 ・健康づくりのために意識的に運動をしている人の割合（いつもしている、時々している） ・自殺死亡率（人口10万人あたり） ・ストレスを毎日感じている人の割合（中学生・高校生） ・自分のことが好き（好き・どちらかといえば好き）という生徒の割合（中学生） ・同上（高校生） ・よくかんで味わって食べる児童生徒の割合（小学生・中学生・高校生） ・毎食後歯をみがく人の割合（高校生） ・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをいつもする人の割合（中学生） ・同上（高校生） ・食事のマナーや作法について気をつけている人の割合（中学生） ・同上（高校生） ・食べ残しやごみを減らすことに気をつけている人の割合（中学生・高校生）
<p>b改善傾向 14項目 (20.0%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分は健康（元気）だ」と思う児童生徒の割合（小学生） ・同上（高校生） ・「自分は健康だ（非常に健康だ・健康な方だ）」と思う人の割合（65歳以上） ・毎食後歯をみがく人の割合（成人） ・歯科のかかりつけ医がある人の割合 ・過去1年間に歯科健康診査を受けた人の割合 ・ほぼ毎日（週6日以上）朝食を摂取している人の割合 ・1日3回野菜を食べる人の割合（中学生） ・同上（高校生） ・主食、主菜、副菜のそろった食事を1日2回以上とる人の割合 ・家で料理をする機会がある人の割合（毎日ある・週に数回ある）（成人男性） ・誰かと食事をする人の割合（家で一人で食事をする人がいない児童生徒）（中学生） ・同上（高校生） ・食べ残しやごみを減らすことに気をつけている人の割合（成人）
<p>c変わらない 3項目 (4.3%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から健康に心がけている人の割合 ・全出生児数中の低体重児（2,500g未満）の割合 ・がん検診受診率（子宮がん検診）

<p>d 悪化傾向</p> <p><u>27項目</u></p> <p><u>(38.6%)</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食を毎日とっている児童生徒の割合（小学生） ・同上（中学生） ・がん検診受診率（胃がん検診） ・がん検診受診率（肺がん検診） ・がん検診受診率（乳がん検診） ・「自分は健康だ（非常に健康だ・健康な方だ）」と思う人の割合 ・虚血性心疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）【男】 ・同上【女】 ・日頃、楽しめる趣味や生きがいがある人の割合（65歳以上） ・地域の自治会や公民館活動への参加率「参加している（いつも＋時々）」 ・睡眠で休養が十分にとれていると思う人の割合（20～50歳代） ・ストレスを毎日感じている人の割合（20～50歳代） ・自分なりのストレス解消法をもっている人の割合 ・3歳児健康診査でう歯のない子どもの割合 ・毎食後歯をみがく人の割合（小学生） ・同上（中学生） ・1日3回野菜を食べる人の割合（小学生） ・同上（成人） ・家で料理をする機会がある人の割合（毎日ある・週に数回ある）＊児童生徒は大人と一緒にすることも含む（小学生・中学生・高校生） ・「食育」に関心がある人の割合 ・誰かと食事をする人の割合（家で一人で食事をする人がない児童生徒）（小学生） ・誰かと食事をする人の割合（家族や友人など、誰かと一緒に食事をする機会が1日1回以上ある成人）（成人） ・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをいつもする人の割合（小学生） ・同上（成人） ・食事のマナーや作法について気をつけている人の割合（成人） ・地元の食材を購入している人の割合 ・行事食を取り入れることを意識している人の割合
<p>e 評価困難</p> <p>2項目</p> <p>(2.8%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を習慣的にしている子どもの割合（学校の体育の授業以外に、ほとんど毎日（週に3日以上）運動・スポーツをしている児童の割合）（小学5年生男子） ・同上（小学5年生女子）

4 健康づくりの課題

(1) 人口減少と核家族化、少子高齢化

(2) ライフステージに応じた健康づくりの推進

(生活習慣病予防対策、がん対策：検診受診率の向上)

ア 栄養・食生活

(ア) 食事を楽しく食べる意識の醸成（全世代）

(イ) 望ましい栄養摂取と食生活の実践、食育の推進

・朝食の欠食改善（特に児童生徒）

・食育の関心、1日3回の野菜摂取、食事バランス、共食の推進（全世代）

・食事のあいさつ（児童、成人）、食のマナーや作法に気をつける、
地元の食材購入（地産地消）、行事食（食文化の継承）（成人）

(ウ) 歯と口腔の健康づくり

・幼児のう歯罹患率

・毎食後の歯みがき（全世代）

イ 身体活動・運動

(ア) 運動習慣者の増加

(イ) 転倒・骨折予防（主に女性）

(ウ) 子どもの体力（筋力や柔軟性）の向上

ウ こころの健康づくり

(ア) ストレス対策（成人）

(イ) 高齢者の趣味や生きがい、地域の活動への参加率

(ウ) 睡眠での休養（成人）

(3) 光市健康づくり推進計画の周知・啓発

第5章 中間評価を踏まえた今後の施策の展開

1 重点的な取組み

Smile Life Project 光 スマイル ライフ プロジェクト ～光市健康応援プロジェクト～

「あなたが主演 みんなが笑顔で元気に過ごせるまち 光」の実現を目指し、「健康寿命の延伸で豊かな人生を」の基本理念のもと、平成28年度から5年間の前期期間において、健康づくりの推進に取り組んできました。

健康寿命は男女とも延伸しているなど、中間目標に到達している指標（項目）がある一方で、改善傾向であるものの中間目標に到達していないもの、計画策定時の近況値（基準値）とほぼ変わらないもの、悪化傾向であるものもある状況です。

今後、全計画期間最終年度（令和7年度）に向けて、後期（令和3年度から5年間）期間において、これまで以上に関係者や関係機関と連携を図り、前期期間に引き続いて、市民の皆さんが自分の健康状態を知り、自分に相応しい健康づくりの計画を立てること、さらに新型コロナウイルス感染症拡大防止対策も含めた「まもる」に加え、自分自身で取り組む3つの行動「うごく」「たべる」「なごむ」の4つの要素で構成する「光 スマイルライフ プロジェクト ～光市健康応援プロジェクト～」についても新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した推進を図ります。

■プラスアップ作戦

プラスアップ作戦は、市民が個人でも実践できる身近な取組みです。日常の生活の中で、ちょっと加える行動を中心に、さらに一步踏み出して（進んで）取り組む視点で、自ら考え選択し、健康づくりに取り組むため、市民が個人でも実行できる身近な取組みを示します。

※作戦の展開にあたっては、具体的なプラスアップのポイントを示した「健康プラスアップ作戦」リーフレットを平成28年度に作成し、市民への啓発を行ってまいりました。今後、令和2年度実施の中間評価の結果を踏まえた新たな「健康プラスアップ作戦」リーフレットを作成し、計画の周知及びライフステージに応じた健康づくりの推進について、広く市民への啓発を図ります。

■スマイルチャレンジ事業

スマイルチャレンジ事業は、市民の皆さんが主体的に取り組む健康づくりを応援するための事業です。「まもる」の項目では、『知る・気づく・学ぶ』をキーワードとして、健康を維持・増進するために必要な自分自身の状態を知り・気づくことや、正しい知識を習得することができるための事業などにより、自分を知り、計画を立てることを支援します。また、「うごく」「たべる」「なごむ」の項目では、健康づくりに重要な『継続』と、継続するために有効な手段である家族や仲間とともに取り組む『ともに』の2つの観点から、市民の皆さんが気軽にチャレンジできるモデル的な事業を展開します。なお、いずれの事業においても、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、対策を講じながら実施するものとします。

【自分を知り、計画を立てる】

■まもる（健診・検診、計画）～Smile Check & Plan～

【具体的取組み例】

●セルフチェック応援事業

自分の健康状態を知り健康意識を高めるとともに、生活習慣改善に向けた目標設定や実践により健康管理の習慣を身に付け、生活習慣等を改善するというプロセスにより、生活習慣病予防の支援を行う。

●健康ポイント事業

健（検）診の受診・健康に関する教室やイベントへの参加・生活習慣の改善に向けた取組みによってポイントを取得し特典を得る事業により、健康づくりに取り組む動機付けを行う。

●歯周病チェック事業

歯喪失の大きな原因となる歯周病の早期発見及び早期治療を行うため、歯周病検診と連携した取組みに併せて、歯のセルフケアに関する周知を図り、歯周病予防の支援を行う。

●（仮）はじめて検診応援事業 **新規**

検診受診の動機付けのため、検診開始年齢の人の自己負担無料化や、検診の必要性の普及啓発に努め、がん検診受診率の向上とともに、がんの早期発見・早期対応を図る。

【健康づくりのために行動する】

■うごく（運動）～Smile Exercise～

【具体的取組み例】

●（仮）みんな to ウォーキング事業 **新規**

お互いに声をかけあい、家族や友人・知人、地域の方、職場の方など、誰かと一緒にウォーキングに取り組むことにより、運動を習慣化する支援を行う。

●（仮）家族 de 体カアップ事業 **新規**

家族で運動を通じたコミュニケーションを図るとともに、運動を習慣化する支援を行う。

●光のあるくロードウォーキングラリー **平成 18 年度から実施**

手軽な運動習慣のひとつである「歩く」ことに取り組むきっかけづくり、歩くことを継続する励みや一体感がもてるよう運動習慣づくりの支援を行う。

*光のあるくロードマップ（地図上に歩数を記録し、目標を立てて全国を旅するもの）を使ったウォーキングラリー参加者を平成 18 年度から募集している。

■たべる（食）～Smile Eat～

【具体的取組み例】

●（仮）食生活チェック応援事業 **改：塩分チェック応援事業**

汁物の塩分摂取状況や野菜摂取量などの食生活状況を確認し、理想の塩分や野菜摂取等について理解を深めるとともに、食べることの始まりとなる乳幼児の保護者への薄味定着及び児の味覚形成、家族の健康づくりの支援を行う。

●光の恵み de 朝ごはん事業 **平成 30 年度から実施**

朝食や野菜の摂取、バランスのよい食事等、適切な食生活を実践し、食を通じた健康づくりを市民が実践できるよう支援を行う。

●（仮）いただきます de マナーアップ事業 **新規**

次世代を担う子どもたちが、はしの使い方や食器の並べ方などの食事マナーや食事バランスの良い食生活を身に付け、人への配慮や食に関する感謝の気持ちなど食を通じた思いやりや社会性を育み食の自立を推進する支援を行う。

■なごむ（こころの健康、休息）～Smile Rest～

【具体的取組み例】

●こころの健康チェック事業

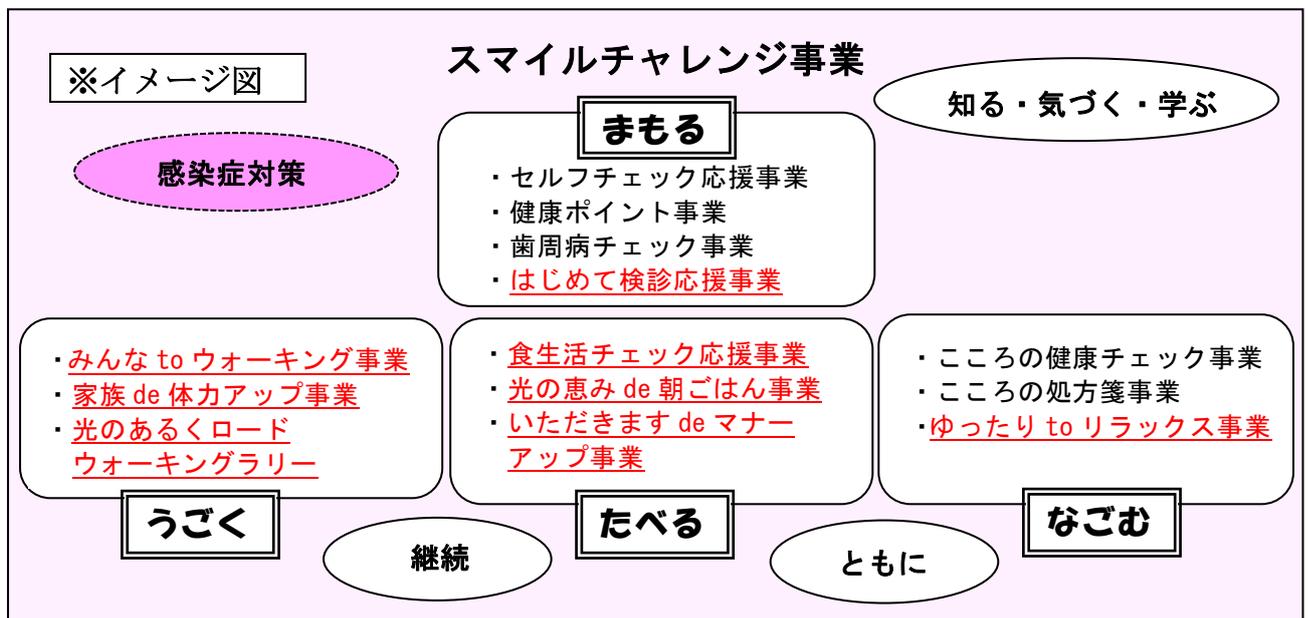
気軽にいつでもどこでも自分のこころの健康状態をチェックできるシステム「こころの体温計」を活用して、こころの健康の保持増進を図るとともに、適切な相談窓口へつながる支援を行う。

●こころの処方箋事業

本の書名や著者が分からないように、オリジナルの袋に入れたまま本を貸出す読書療法を取り入れた取組みにより、こころの健康の保持増進を図るとともに、こころの健康相談窓口の周知を行う。

●（仮）ゆったり to リラックス事業 **新規**

ストレッチ等のストレス解消法を実践することで、ストレスの軽減を図るとともに、休息を確保してこころと身体がリラックスするための支援を行う。



2 施策の展開例

網掛け：計画書（平成28年3月）に掲載項目なし
 下線部分：計画書の掲載内容に一部変更あり

令和2年11月末現在

基本目標Ⅰ ライフステージに応じた健康づくりの推進

個別目標1 次世代の健康づくりの推進

	前期	後期					担当
	H28-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
ハイリスク妊産婦への支援の推進	→					健康増進課 <u>子ども家庭課</u>	
妊産婦・乳幼児健康診査の実施	→					健康増進課	
こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)の実施	→					健康増進課	
育児相談・1歳児お誕生相談・2歳児お誕生相談の実施	→					健康増進課	
食育子育て支援事業(幼稚園・保育所・認定こども園)の実施	→					子ども家庭課	
子育て講座の開催	→					文化・社会教育課 <u>子ども家庭課</u>	
「早寝早起き朝ごはん運動」の推進	→					学校教育課 文化・社会教育課 関係各課	
子どもの体力・スポーツ活動の推進	→					体育課 学校教育課 子ども家庭課	
防煙教育の推進	→					学校教育課 <u>子ども家庭課</u> 健康増進課	
一校一取組み(各校における課題を解決するための取組み)の一層の充実	→					学校教育課	
生涯学習セミナー等の開催	→					地域づくり推進課	
子育て支援センター管理運営事業(なかよし広場、パパも出番ですよ! <u>運動あそび</u>)の実施	→					子ども家庭課	
未来のパパママ応援事業(中学生と乳幼児のふれあい体験)の実施	→					子ども家庭課	
妊産婦や子育て家庭への支援の推進	→					健康増進課 子ども家庭課 関係各課	

基本目標Ⅰ ライフステージに応じた健康づくりの推進

個別目標Ⅱ 働く世代の健康づくりの推進

	前期	後期					担当
	H28-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
各種がん検診の推進	→						健康増進課 関係各課
健康教育・出前健康教育の実施	→						健康増進課 関係各課
各種健康相談(健康・栄養・禁煙)の実施	→						健康増進課 関係各課
特定健康診査・特定保健指導の充実・実施(国民健康保険)	→						市民課 健康増進課
高血圧症重症化予防事業の実施(国民健康保険)	→					見直し	市民課
(再掲)生涯学習セミナー等の開催	→						地域づくり推進課
糖尿病性腎症重症化予防事業の実施(国民健康保険)	→						市民課
各種健康診査等の実施(骨粗しょう症検診、医療保険未加入者を対象とした生活習慣病予防健康診査)	→						健康増進課
健康増進事業「健康プラスアップ作戦事業」の推進	→						健康増進課
健康増進事業「スマイルチャレンジ事業(まもる)」の推進	→						健康増進課 関係各課

基本目標Ⅰ ライフステージに応じた健康づくりの推進

個別目標Ⅲ 高齢期の健康づくりの推進

	前期	後期					担当
	H28-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
高齢者の健康づくり・生きがいづくりの推進	→						高齢者支援課 <u>地域づくり推進課</u> 関係各課
認知症予防事業(講演会や講座等)の実施	→						高齢者支援課 <u>関係各課</u>
介護予防事業の充実	→						高齢者支援課
地域コミュニティ活動(自治会やいきいきサロン等)への参加促進	→						地域づくり推進課 高齢者支援課
(再掲)生涯学習セミナー等の開催	→						地域づくり推進課
介護支援ボランティアポイント事業	→						<u>高齢者支援課</u>

基本目標Ⅱ 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上

個別目標1 身体活動と運動の促進

	前期	後期					担当
	H28-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
ウォーキングの推進(光のあるくろードウォーキングラリーの実施、ひかり環境・健康ウォーキングマップの普及啓発等)	→						健康増進課 関係各課
各種スポーツイベント・スポーツ教室の開催	→						体育課 関係各課
冠山総合公園を中心とした健康づくりイベントの実施	→						<u>都市政策課</u>
ニュースポーツの普及・啓発	→						体育課
コミュニティセンター事業(健康ウォーキング、 <u>各種スポーツ大会</u> 等)の実施	→						地域づくり推進課 関係各課
運動施設や環境の整備	→						体育課 地域づくり推進課 関係各課
健康づくり拠点としての公園の維持管理の実施	→						<u>都市政策課</u>
(再掲)子どもの体力・スポーツ活動の推進	→						体育課 学校教育課 子ども家庭課
(再掲)介護予防事業(運動器機能向上等事業)の充実	→						高齢者支援課
(再掲)介護予防事業(転倒骨折予防教室等)の充実	→						高齢者支援課
(再掲)一校一取組み(各校における課題を解決するための取組み)の一層の充実	→						学校教育課
(再掲)子育て支援センター管理運営事業(なかよし広場、パパも出番ですよ! <u>運動あそび</u>)の実施	→						子ども家庭課
健康増進事業「スマイルチャレンジ事業(うごく)」の推進	→						健康増進課 関係各課

基本目標Ⅱ 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上

個別目標2 こころの健康づくりの推進

	前期	後期					担当
	H28-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
こころの健康について情報発信 (こころの体温計、心の健康カード)	→						健康増進課
産後うつ予防事業の実施	→						健康増進課
おっぱい育児の推進	→						子ども家庭課 健康増進課
心の健康相談・癒しのカウンセリングの実施	→						健康増進課
(再掲)子育て支援センター管理運営事業(子育て支援員による相談)の実施	→						子ども家庭課
子育て支援の「わ」事業の実施 (園庭開放、身近な相談場所)	→						子ども家庭課
ストレスマネジメント力の育成	→						学校教育課
障害がある人の相談支援の実施	→						福祉総務課
若者の就業的自立の支援 心理カウンセリングの実施	→						商工観光課
心の不調に気づき、適切な支援につなげられる人材の育成、見守り体制の整備	→						子ども家庭課 学校教育課 健康増進課
自然とふれあう機会(自然体験学習等)の推進	→			見直し	→		環境政策課 関係各課
植樹や花壇づくり等による緑化の推進と環境の向上	→						都市政策課
保育・幼児期の教育の推進(子どもの心の発達の促進)	→						子ども家庭課
健康増進事業「スマイルチャレンジ事業(なごむ)」の推進	→						健康増進課 関係各課

基本目標Ⅱ 健康に暮らすために必要な機能の維持と向上

個別目標 3 歯と口腔の健康づくりの推進

	前期	後期					担当
	H28-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
歯の健康相談・成人歯科健診の実施	→						健康増進課
幼稚園・保育所・認定こども園 歯科指導の推進	→						健康増進課 関係各課
光市よい歯のコンクールの展開と 8020運動の推進	→						健康増進課 学校教育課
障害者口腔健診及び口腔衛生指導の実施	→						健康増進課 関係各課
歯周病検診・口腔がん検診の実施	→						健康増進課
(再掲)介護予防事業の充実 (口腔機能向上講演会の実施等)	→						高齢者支援課
健康増進事業「歯周病チェック事業」の推進	→						健康増進課

基本目標Ⅲ 望ましい食習慣の実践と食育の推進

個別目標 1 望ましい栄養摂取と食生活の実践

	前期	後期					担当
	H28-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
ライフステージに応じた食育相談・ 栄養相談の実施	→						健康増進課
健康教室やおよこ料理教室等の実施	→						健康増進課 地域づくり推進課 関係各課
レシピカードを活用した栄養・食生活に関する普及啓発	→						健康増進課 関係各課
チャイベビ食育事業の実施 (未就園親子の食育推進)	→						子ども家庭課
(再掲)食育子育て支援事業(幼稚園・ 保育所・認定こども園)の実施	→						子ども家庭課
高齢期の食育推進の展開 (栄養調理教室の開催等)	→						高齢者支援課
高齢期の食育推進の展開 (訪問栄養指導の実施)	→						高齢者支援課
地域における食生活改善推進活動の支援	→						健康増進課 関係各課
地産地消の推進	→						農林水産課 関係各課
健康増進事業「スマイルチャレンジ事業(たべる)」の推進	→						健康増進課 関係各課

基本目標Ⅲ 望ましい食習慣の実践と食育の推進

個別目標 2 食文化の継承と食に関する感謝の念と理解、共食の推進

	前期	後期					担当
	H28-R2	R3	R4	R5	R6	R7	
家庭における共食等の推進	→					健康増進課 関係各課	
学校給食における地産地消の推進 (地場産食材の活用)	→					学校給食センター 関係各課	
(再掲)地産地消の推進	→					農林水産課 関係各課	
農業体験教室等の実施	→					農林水産課 関係各課	
調理体験教室等の開催	→					地域づくり推進課 健康増進課 関係各課	
(再掲)チャイベジ食育事業の実施	→					子ども家庭課	
(再掲)食育子育て支援事業(幼稚園・保育所・認定こども園)の実施	→					子ども家庭課	
食の安全・安心に関する取組み (情報発信)	→					生活安全課 関係各課	
ごみの減量に関する取組み (環境学習や啓発活動等)	→					環境事業課 関係各課	

参考資料

1 中間評価の経緯

平成 28 年 3 月	光市健康づくり推進計画策定
平成 28 年 4 月～	光市健康づくり推進計画に基づく事業の推進
平成 28 年 7 月 28 日	平成 28 年度光市健康づくり推進計画市民協議会の開催
平成 28 年 10 月 3 日	平成 28 年度光市健康づくり推進計画庁内会議の開催
平成 29 年 8 月 10 日	平成 29 年度光市健康づくり推進計画市民協議会の開催
平成 29 年 9 月 29 日	平成 29 年度光市健康づくり推進計画庁内会議の開催
平成 30 年 8 月 9 日	平成 30 年度光市健康づくり推進計画市民協議会の開催
令和 元年 8 月 8 日	令和元年度光市健康づくり推進計画市民協議会の開催
令和 2 年 6～7 月	光市「健康・食育に関する市民アンケート」調査の実施
令和 2 年 10 月 8 日	令和 2 年度第 1 回光市健康づくり推進計画市民協議会の開催
令和 2 年 11 月 16 日	令和 2 年度光市健康づくり推進計画庁内会議の開催
令和 2 年 12 月 24 日	令和 2 年度第 2 回光市健康づくり推進計画市民協議会の開催
令和 3 年 3 月（予定）	中間評価報告（報告書）

2 光市健康づくり推進計画市民協議会

(1) 光市健康づくり推進計画市民協議会設置要綱

平成 28 年 4 月 28 日

光市告示第 73 号

(設置)

第 1 条 本市の健康増進及び食育推進の指針とする光市健康づくり推進計画（以下「計画」という。）の策定に関する協議及び計画の推進にあたり、市民の意見等を反映するため、光市健康づくり推進計画市民協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(任務)

第 2 条 協議会の任務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) 計画の推進に関すること。
- (3) その他市民の健康増進及び食育推進に関すること。

(組織)

第 3 条 協議会は、25 人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 市民団体、各種団体等の代表者又はその推薦を受けた者

- (3) 公募により選出された者
 - (4) その他市長が必要と認める者
- (任期)

第4条 委員の任期は、3年を超えない範囲で市長が定める期間とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。
- (会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
 - 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- (会議)

第6条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要に応じて招集し、その議長となる。

- 2 議事は出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 - 3 会長は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。
 - 4 会議は、公開するものとする。
- (庶務)

第7条 協議会の庶務は、福祉保健部健康増進課において処理する。

(その他)

第8条 この告示に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則
(施行期日)

- 1 この告示は、平成26年8月1日から施行する。
(光市食育推進市民協議会設置要綱の廃止)
- 2 光市食育推進市民協議会設置要綱（平成22年光市告示第103号）は、廃止する。
(光市健康増進計画「光すこやか21」推進協議会設置要綱の廃止)
- 3 光市健康増進計画「光すこやか21」推進協議会設置要綱（平成22年光市告示第109号）は、廃止する。
(会議の招集の特例)
- 4 この告示の施行後、協議会の最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

附 則
この告示は、平成28年5月1日から施行する。

(2) 光市健康づくり推進計画市民協議会委員名簿

令和2年12月現在

	所 属	役職名 等	氏 名
保健・ 医療・ 福祉 関係 (5)	光市医師会	会長	廣 田 修
	光市歯科医師会	会長	南 典 文
	山口県周南健康福祉センター	保健環境部調整監 兼 健康増進課長	横 田 恵
	光市社会福祉協議会	事務局長	小 西 俊 弘
	光市民生委員児童委員協議会	会長	竹 本 新 助
地域活 動団体 (8)	光市老人クラブ連合会	会長	柳 通 江
	光市コミュニティ連絡協議会	室積コミュニティセンター 館長	松 本 隆
	山口県栄養士会 周南地域専門部会	地域活動所属 光地区代表	岡 村 美由紀
	光市食生活改善推進協議会	会長	天 野 加代子
	光市母子保健推進協議会	会長	藪 崎 寿 子
	光市スポーツ推進委員協議会	会長	林 徳 人
	光市障害者福祉推進連絡協議会	会長	中 原 健 次
	光市消費者の会	会長	松 岡 静 枝
農林漁 業・商 工関係 (3)	光商工会議所	金融課長	恩 田 寛 正
	里の厨事業協同組合	生産副部長	末 岡 恵 治
	山口県漁業協同組合 光支店		市 川 由 美
幼保・ 学校 関係 (5)	光市小学校 校長会	光市立光井小学校 校長	田 中 敬 二
	光市教育開発研究所	主任研究員	村 上 博
	山口県保育協会光支部	浅江東保育園 主任保育士	河 本 知 子
	光市私立幼稚園協会	代表	岡 田 留美子
	光市小中学校PTA連合会	光市立光井中学校 PTA会長	岡 田 貴 義
公 募 (2)	公募委員		平 井 幸 江
	公募委員		松 田 薫

